第７０回　北海道写真館連合会　函館大会を開催

北海道写真館連合会　会長　千葉浩道

日を追うごとに夏らしくなるこの頃、会員並び商社の皆様、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。
ここに第７０回北海道写真館連合会　函館大会が7月２５日サン・リフレ函館にて１日開催しますのでご案内申し上げます。
生成ＡＩや技術改革、写真価値の低下など私たちを取り巻く環境は、著しく厳しくなっています。
そんな中、(一社)日本写真文化協会・(協)日本写真館協会・全日本学校アルバム印刷組合との共同で取り組んでおります
学校写真は、生徒数の減少、卒業アルバムの低価格、カメラマン不足など様々な問題や課題を抱えており、
２月にX(旧ツイッター)上でカメラを持っている人なら、誰でも良いから募集され、保護者らから批判が殺到した。
北海道新聞全道版とオホーツク版やＨＢＣ(北海道放送)の「今日ドキッ」でも取り上げられ学校アルバムの尊さを伝えられた。
カメラマンは、誰でも良いわけではない、我々(道写連)には、写文協推進の技能検定と写館協のＰＳＭＳ資格を取得し、
２本立てで、写真館の写真をアピールしていかなくてはならないと思います。
さて、本大会の講演には、静岡県写真館協会会長、数々の写真コンテスト受賞と講師歴をされている田内光裕先生をお迎えして、
「清水写真館まるはだか！」と題してご講演いただきます。集客、接客、撮影などお話して頂きます。自店の参考になると思います。
又、写真コンテストでは、昨年に引き続き、協同組合日本写真館協会で出しております
「ReBorn60賞」肖像写真や家族写真、グループなど60歳以上の方が入る写真が対象で、
第一部と第二部の中から選ばれます。多数のご応募をお願いいたします。
本大会を開催するにあたり、北海道・(一社)日本写真文化協会・(協)日本写真館協会より、
ご後援を頂戴致しております。又、メーカー商社様には、格別のご配慮を頂戴致しました。
多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

申し込み要領

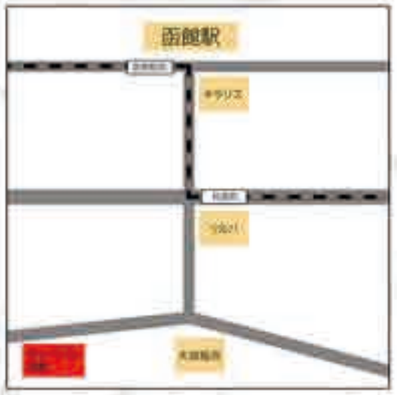
■日　時／2024年7月25日(木)　13:00開会
　12:00より受付（昼食は各自お済ませください。）

■会　場／サン・リフレ函館
　函館市大森町2-14
　HP　https://s-refre-hakodate.com/

■講　師／清水写真館　田内　光裕 氏

■会　費／お一人 10,000円（懇親会費含）
　■受講のみ　ご家族・スタッフ・学生の方　/　お一人　3,000円
　一般の方　お一人　/　5,000円（懇親会参加は+6,500円）

■大会参加のお申し込みは別紙に必要事項をご記入の上
　7月20日（土）必着でFAXにてお申し込み下さい。



第70回 北海道写真館連合会函館大会　役員の紹介

大会実行委員長	千葉　浩道
開催地実行委員長	加藤　昇
開催地副実行委員長	小野　雅章
相談役	畠中　孝秀
総務	小野　雅章
会計・受付	朝風　恵子
会場・記録	畠中　孝秀
作品	佐藤　喬
懇親会	小野　雅章
司会進行係	朝風　恵子

皆さまのご参加を
心からお待ちいたしております。

北海道写真館連合会
70th 函館大会 2024

■主　催／北海道写真館連合会
■担　当／北海道写真館連合会 函館支部
■後　援／北海道　・　一般社団法人　日本写真文化協会　・　協同組合　日本写真館協会
■日　時／2024年 7月25日(木)12:00受付～13:00開会
■会　場／サン・リフレ函館　北海道函館市大森町2－14
■講　師／有限会社清水写真館　田内　光裕 氏
■会　費／会員10,000円(懇親会費含)
　※受講のみ　■家族・スタッフ・学生の方/お一人3,000円　■一般の方/5,000円

第７０回北海道写真館連合会 函館大会に寄せて

一般社団法人日本写真文化協会　会長 田中 秀幸

第70回北海道写真館連合会函館大会、開催おめでとうございます。
文協四谷写真会館の建て替え準備も順調に進んでおり、2027年夏には
新しい建物も完成の予定です。
なかなか四谷まで足を運んで頂く機会は少ないかと思いますが、
この建物から上がる収益が、文協の活動の原資となるものであり、
ブロックにおける事業の一助として生かされていくものであることを
ご理解いただければ幸いです。
写真館を取り巻く七つの心配。
少子高齢化、気候変動による季節感の希薄化、
出張カメラマンの台頭、データ中心の営業、学校アルバムへの意識変化、
生成AIの影響、そして最も気がかりなのはICT企業の業界参入。
これまでとは違う相手との戦いが始まります。
一つ一つに個人として知恵を絞り、
また文協としても対応をしていかなくてはなりません。
我々は、様々な営業形態で頑張っているわけですが、
おそらく最も大切にしていかなくてはならない事、それは、リアルである事、
お客様の求めることを感じる事、人が人を撮ること。
時間と空間と思いを共有し形に残す事。
地域に根差し、歴史を共にし、その町で写真を撮る事。
撮影することそのものをもっともっと大切にしなければならない。
写真館の原点に立ち帰る、自分を見直さなければならない、
そんな時代を迎えているのでしょう。
最近、若い皆さんの頑張りを強く感じています。
素晴らしい写真館の未来を予感させてくれます。
文協に何が出来るか、文協をどう利用してもらうか、共に考え、
頑張って参りたいと思います。

第７０回北海道写真館連合会 函館大会に寄せて

協同組合日本写真館協会　理事長　佐藤 泰博

北海道写真館連合会の第70回函館大会の開催を心よりお祝い申し上げます。
日頃より日本写真館協会の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます
とともに、函館大会が価値ある大会となることをご祈念申し上げます。
さて、世の中では、「2024年からは本格的に風の時代がはじまる。」
と言われています。
風の時代とは占星術の用語の一つで2020年12月22日から始まり、
約200年にわたって続くものだそうです。
風の時代の前は「土の時代」といわれ、目に見える物質的な豊かさに価値
がある時代であったそうです。ここで産業革命がおこり、物の所有による豊
かさが広がりました。これに対し風の時代は、形のないものが意味を持つ
時代で、知性や情報、思い出など目に見えないものが価値を生み出します。
昨今の経済情勢でも、消費者のモノ離れ、経験価値への消費の移行という
話をよく耳にします。
この流れは、大切な思い出をお客様に届けていく私たち写真館の時代とい
えます。
協会はこのような時代に向け、「変わらないために変わり続ける」ことを進
めていきます。
日本写真館協会の設立当初は、協同組合として共同購入による物販を主
な事業として進めていました。その後、教育・ノウハウの共有を目指し図録
や写真集の販売、日本写真館賞活動、各種セミナー事業を進めてきました
。直近では、「ReBorn60フォト」による新たな撮影需要を創造する事業を
はじめています。
本年度はこれにくわえ、新たに「ドロップボックス」と「損害保険」の2つの
事業を開始する予定です。「ドロップボックス」では、お客様の大切なデー
タをクラウドで安全に保存できる環境を提供します。これによりお客様に
とっても写真館にとっても安心で安全なビジネスが可能となります。「損害
保険」においては、お客様との接点が増えていく中、お客様に怪我をさせた
、ヘアメイクで炎症が起きたなどのリスクや、お客様からのクレームなどに
対する弁護士への法律相談費用などまでをカバーし、写真館をまもります
。
この二つの事業は、まさに形のない「安心・安全」を会員の皆様に提供して
いく、写真館協会の「風の時代」の新しい事業です。

日本写真館協会は、時代に合わせ、会員のみなさんにとって有益となる事
業をすすめるべく、変わらないために変わってまいります。
北海道写真館連合会においても積極的に協会事業に取り組んでいただき
、益々発展されることをお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきま
す。